



平成30年度施政方針

平成30年第2回町議会定例会が6月8日から19日まで開かれ、川添健町長が「平成30年度施政方針」を述べました。その一部を抜粋し、お知らせします。

4期目を迎えて

私は、この度の町長選挙におきまして、引き続き4期目の町政を担うことになりました。皆様がたからいたいただきました信託の重さを改めて実感し、その信頼と期待にお応えするために、決意を新たに、全力を尽くしてまいります所存でございます。

明治維新150周年を迎えた今年、来年の皇位継承を控え、平成という時代に対する国民的な関心の高まりと相まって、その歴史的な節目としての重みをより一層増しています。

このような中、長島町は今年で合併13年目を迎えました。これまで、福祉事務所の設置をスタートに、子育て支援では、小・中学生の給食費無償化、プリア奨学金制度の創設など、行政改革では、道路管理をはじめ、入会林野事業の権限移譲など、全国モデルを展開してまいりました。

今後10年間を見据えた構想や、4年間で予定される大型事業に取り組み、地方創生への工夫を凝らした事業を導入して展開してまいります。

そして「住民の皆様が満足できるまちづくり」をさらに推進してまいります。

今年度予算

平成30年度当初予算につきましては、義務的経費、継続的経費を中心に「骨格予算」として編成してまいりました。

この度の補正予算を「肉付け予算」として、一般会計におきましては、34億9838万7千円を追加し、総額119億5268万円となり、今年度も100億円を超える予算となりました。

国民健康保険など各特別会計まで含めると、166億6170万8千円でございます。

大型プロジェクトへの取り組み

広域的、長期的な大型プロジェクトといたしまして、次の2点を考えております。

第1に、西回り自動車道は、八代市から薩摩川内市までの間が、必ず開通いたします。この高速道路開通の効果を、いかに高めていくかが重要になります。

北薩横断道路の一部を構成する「泊野道路」のうち、約5キロの北薩トンネルも開通いたしました。阿久根市からさつま町の宮之城までの、空港道路も更に整備が進められ、利用度も高まっております。この道路につきましても、住民の利便性の

向上に寄与するだけでなく、その効果を、町の振興や活性化につなげていかなければなりません。

第2に、大型架橋構想の実現のためにエネルギーを注がなければならぬと考えております。

鹿児島（熊本）長崎を結ぶ3県架橋の実現のために、まずは鹿児島・熊本間を優先した取り組みを進めるため、長島町と天草市が連携して地元期成会を立ち上げ、周辺自治体を巻き込んだ国・県への要望活動などを行ってまいります。

獅子島島民はもとより、長島町の悲願であります獅子島架橋の推進につきましては、「夢追い獅子島架橋基金」を着実に積み立てております。1年でも早く達成するために、具体的にどのように取り組んでいくのか、その判断が迫られてまいりますので、獅子島島民の意向をみながら、今後も努力を重ねていく所存であります。

庁舎のあり方について

合併10年が過ぎ、普通交付税の合併算定替による段階的縮減がはじまるとともに、少子高齢化や人口減少などによる税収入の増加が見込めないことから、昨年6月の議会定例会におきま

して、一定の方向性を示すことができました。

平成33年4月の本所・支所方式移行に向けて、役場組織の再編や庁舎改修などを進めてまいりますとともに、公約いたしましたとおり、地域振興対策も着実に推進してまいります。

地方創生

総務省から人材支援を受け、さまざまな特色あるプロジェクトを実施いたしました。私共は、人材支援によるご指導と、人とのつながりを大事にして、これからの町の発展に、結び付けていく必要がございます。

今年4月には地方創生課を新設して、組織の強化を図りました。空き家対策や映画制作など、さまざまな長島らしい取り組みを展開し、全国に向けて情報発信して、投資効果を高めてまいります。

光ファイバー整備

高度情報化社会の進展により需要が高まっております高速ブロードバンド事業に着手し、光ファイバー整備を年次的に進めてまいります。

光ファイバー網の有効利用を促進していくことが、地理的な情報格差の是正につながるものと期待してまいります。

交流人口の拡大に向けて

本年2月にサンセット長島が閉館しましたが、民間の力をお借りして、本年度中に新たなホテルがオープンすることになります。周辺部を取り込んだ再整備を図りながら、長島の観光の一大拠点としてまいります。

その他にも「ぐるっとフラワールード」の整備をはじめ、「花フェスタ」や「じやがいもまつり」、「おさかな祭り」などのさまざまなイベントの実施により、長島を訪れるかたが増加し、地域経済や産業の振興にもかなりの効果が出ているものと考えております。

今後におきましても、交流人口の増加を図るため、イベントなどのソフト面の充実を図るとともに、全国にも通用するようなオンラインワンの絶景、施設などの整備改修を進めてまいります。

きめ細やかな福祉・医療

福祉については、今年4月の機構改革に伴い、福祉事務所を独立させることができました。住民一人ひとりが大切にされる、きめ細やかな対応を行ってまいります。安心して出産し、子育てができる環境、そして高齢者の皆様が安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

子宝祝い金の充実や認定子ども園の整備など、子育て支援の一層の充実を図るとともに、福祉事務所を中核として、高齢者や障がい者への対策などに、きめ細やかな福祉を実施してまいります。

医療については、鷹巣診療所の整備を見据え、新たに医師を1名、招へいできる運びであります。医師2人の体制を整えることにより、へき地診療や在宅医療の充実など、きめ細やかな対応が可能となります。

本町発展の源となる、道路・港湾・漁港などの社会資本の整備、そして、本町の基幹産業であります、農業や水産業など第一次産業の振興が必要不可欠であります。ここ数年、広域行政に関する大型事業や、町内の緊急性のある事業が山積し、財政との調整が不可欠であります。

しかしながら、特に重要な生活基盤であります道路整備につきましては、国道389号線の田尻地区と県道葛輪瀬戸線の本浦地区の改良が完成しました。今後は、平尾地区や山門野地区、平尾・川床間の改良促進と早期完成に、全力で対応してまいります。

社会資本整備と一次産業振興

しかしながら、特に重要な生活基盤であります道路整備につきましては、国道389号線の田尻地区と県道葛輪瀬戸線の本浦地区の改良が完成しました。今後は、平尾地区や山門野地区、平尾・川床間の改良促進と早期完成に、全力で対応してまいります。

消防・防災について

消防・防災の拠点となる東分遺所の整備が今年度中に完了いたします。防災に対する住民の意識向上などを図るための地域防災計画の策定や、救急車が到着するまでの応急手当の実施や救急隊の支援を行うファーストレスポンド隊の組織、耐震性貯水槽などの消防施設・機材の整備なども進め、今後も、安心安全なまちづくりに取り組んでまいります。

地域の活性化策

平成28年度から太陽光発電所の売電収入を活用して「長島夢追い元気集落活性化補助金」を交付しておりますが、チャレンジ提案事業との一体的な活用など、今後も各公民館の独自の発想によるユニークな事業の展開を期待しております。

さらには、「スマイルプラン事業」として、1億円の特別枠を確保いたしました。みんなが笑顔になるような事業として、進めてまいります。

総合運動公園の整備

多目的運動広場の造成工事などを実施し、スポーツイベント

